

# 「終末期がん患者に対するポリファーマシー対策の介入研究」へのご協力をお願い

代表者	氏名：杉山 哲大	所属：薬剤部	職名：部長
共同担当者	氏名：春木 祐人	所属：薬剤部	職名：主任
	氏名：関 裕佳里	所属：薬剤部	
	氏名：森 翔馬	所属：薬剤部	
	氏名：島田 憲一	所属：就実大学薬学部	職名：教授
	氏名：毎熊 隆誉	所属：就実大学薬学部	職名：准教授
	氏名：吉井 圭祐	所属：就実大学薬学部	職名：助教
	氏名：広本 篤	所属：就実大学薬学部	

## 1. 目的

薬物療法を行っていく上で複数の併存疾患または症状に対してそれぞれの治療薬を使用することになるが、多剤服用時に害となる場合があり、これをポリファーマシーという。ポリファーマシーは単に薬剤数が多いというだけではなく、それに関連して薬物相互作用の増大や服薬アドヒアランスの低下、経済的にも医療費の増大など様々な問題を引き起こす原因となる。

また、がん患者の終末期においてもポリファーマシーの問題は生じている。予後の限られた終末期がん患者に、症状の緩和に対する薬剤に加え慢性的な基礎疾患の薬がその効果とリスクについて評価されないまま漫然と投与され続けている。しかし、終末期がん患者において、どの薬をいつまで飲み続けるのかについてのエビデンスはなく判断が困難である。本研究では、終末期がん患者に対して行われた薬物療法について、同効薬の削減や、配合剤への変更による薬剤数の削減とは異なるポリファーマシー対策、すなわち通常であれば必要であるが生命予後を考えると不要な基礎疾患薬の中止がなされているかどうかを後ろ向きに調査し、さらに、終末期がん患者のポリファーマシー対策に薬剤師が関与した場合の有効性や安全性について検討する。

## 2. 対象と方法

緩和ケアチームの薬剤師が介入した患者を対象に、後ろ向きにカルテ調査を行う。

## 3. 研究期間

2020年5月1日～2022年5月1日までの期間カルテから後ろ向きにデータ収集。

2022年5月1日～2024年2月1日までの期間データの解析及び論文化。

#### 4. 調査票等

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきます。あなたの個人情報は削除後匿名化し、個人情報などが漏洩しないようにプライバシーの保護には最新の注意を払います。

- ・年齢、性別、家族歴、既往歴、嗜好、診察初見など
- ・検査データ、画像データ、手術記録、病理記録など
- ・治療内容、有害事象など

#### 5. 情報の保護

調査により得られたデータを取り扱う際は、被検者の秘密保護に十分配慮し、特定の個人を識別することができないようにします。

個人情報は完全に秘匿されておりますのでご安心下さい。もし患者様自身やご家族の情報が研究に使用されることについてご了承頂けない場合には研究対象としませんので下記までご連絡下さい。

津山中央病院 病院長 林 同輔

連絡先：電話 0868-21-8111（担当：薬剤部 杉山 哲大）